

ソーシャルワーク実習指導

[講義・演習] 第3学年 通年 選択 2単位

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》 巻 康弘 ○片山 寛信 志水 幸 大友 芳恵 長谷川 聡 福岡 麻紀 中田 雅美 近藤 尚也 松本 望 (主担当者、○副担当者)

【概 要】

23日以上かつ180時間以上、社会福祉施設・機関等に配属されて行われるソーシャルワーク実習を効果的に進めるため、北海道ブロックの「実習教育・指導に関する指針」に基づき、事前教育、訪問指導、事後教育の各段階に分けて実施される。実習指導は全体指導とグループ指導の形態で展開される。

【学習目標】

ソーシャルワーク実習は、日本ソーシャルワーク学校連盟北海道ブロック統一の実習評価表に基づき、次のような学習目標が設定される。

- 基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係形成能力を育てる
- 利用者理解とそのニーズ把握及び支援計画の作成能力を育てる
- 利用者やその関係者（家族・親族、友人等）との援助関係の調整能力を育てる
- 利用者やその関係者（家族・親族、友人等）への権利擁護および支援（エンパワメントを含む）とその評価をする能力を育てる
- 他職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチに関わる能力を育てる
- 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営に関わる能力を育てる
- アウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発の能力を育てる
- 職業倫理、施設、事業者、団体等の職員の就業などに関する規定理解と組織の一員としての役割と責任を遂行する能力を育てる

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ソーシャルワーク実習と実習前評価システムの概要	社会福祉教育における実習経験の意義。 本学実習教育におけるSW実習の位置付けの説明。 実習要綱・実習の手引き・実習報告書等の説明。 実習配属先の確認。 年間計画（シラバス）・評価方法の説明。 受講上の諸注意 編入生には、事前にオリエンテーションを行う。	巻、大友、福岡、中田、近藤、松本、片山
2	実習評価と実習計画書（一部グループ指導）	実習評価表と指導上のポイントの説明。 実習計画書作成方法の説明。3段階実習の説明。 実習計画書・第一版の説明。 13:30 14:00グループ指導（担当教員との顔合せと打合せ、グループ指導概要の説明、等）。	志水幸、大友、長谷川、巻、福岡、中田、近藤、松本、片山
3	北海道ブロックにおける実習システムと実習委託契約	北海道ブロックにおける実習システム 実習委託契約書と指導に関する合意書の説明。 実習教育・指導に関する指針の説明。 実習評価表と指導上のポイントの詳細説明。	巻、大友、福岡、中田、近藤、松本、片山
4	CBT（知識試験）とOSCE（客観的臨床能力試験）	CBT（知識試験）の説明。 OSCE（客観的臨床能力試験）の説明。 OSCEの概要。 試験項目（インテーク面接）の説明。	片山、巻、大友、福岡、中田、近藤、松本、片山
5	OSCE（客観的臨床能力試験）	OSCE（客観的臨床能力試験）の説明。 試験項目（アセスメント報告）の説明。	片山、巻、大友、福岡、中田、近藤、松本、片山
6	OSCE（客観的臨床能力試験）、実習日誌	OSCE（客観的臨床能力試験）の説明。 試験項目（実習日誌記載・提出）の説明。 実習日誌の様式・書き方の説明。 OSCE・CBTの結果活用についての説明。 実習日誌の様式理解と記載方法の説明。	片山、巻、大友、福岡、中田、松本、近藤、片山

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
7	実習前グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 文献・資料や事前訪問等による実習施設の理解 実習計画書の作成指導。 スーパーバイザーの役割の理解、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
8	実習前グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 文献・資料や事前訪問等による実習施設の理解 実習計画書の作成指導。 スーパーバイザーの役割の理解、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
9	事例研究(個別援助の理解・地域福祉支援研究)	事例研究の理解 個別援助の理解 地域福祉(支援)の理解。	福岡、片山、巻、大友、 中田、近藤、松本、片山
10	ソーシャルワーク機能モデル	ソーシャルワーク機能モデルの説明。 施設ソーシャルワーク機能の説明。 OSCEの教育的活用方法についての説明。	近藤、大友、福岡、松 本、片山、巻
11	実習前グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 文献・資料や事前訪問等による実習施設の理解 実習計画書の作成指導。 スーパーバイザーの役割の理解、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
12	実習前グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 文献・資料や事前訪問等による実習施設の理解 実習計画書の作成指導。 スーパーバイザーの役割の理解、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
13	OSCE (講目 ~ 講目)	OSCE (客観的臨床能力試験)	向谷地、大友、佐藤、 巻、福岡、奥田、池森、 下山、中田、高橋、近 藤、松本、片山
14	実習前グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 文献・資料や事前訪問等による実習施設の理解。 実習計画書の作成。、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
15	CBT	CBT (知識試験) 50問 ~ 100問、アンケート	松本、中田、片山
16	OSCE・CBT結果発表	OSCE、CBT結果返却と振り返り。 ソーシャルワーク実習打合せ会の説明。	巻、大友、福岡、中田、 近藤、松本、片山
17	実習前グループ指導 (OSCE・CBT 振り返り)	OSCE振り返り (DVD視聴) 。 CBT 振り返り。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
18	OSCE (予備日)	不合格者、未受験者の再試験	巻、大友、福岡、中田、 近藤、松本、片山
19	実習前グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 文献・資料や事前訪問等による実習施設の理解。 実習計画書の作成。、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
20	CBT (予備日)	不合格者、未受験者の再試験	松本、中田、片山
21	ソーシャルワーク実習打合せ会 (会場：札幌ガーデンパレス)	SW実習関係三者による打合せ会。 本学の実習教育体系の説明。 OSCE・CBT実施内容の説明。 学生の事前教育状況の説明(グループ毎)。 学生による実習計画書の説明。 実習指導者による実習計画書の指導。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
22	実習前グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 文献・資料や事前訪問等による実習施設の理解。 実習計画書の作成と最終指導。 スーパーバイザーの役割の理解、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
23	実習前グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 ソーシャルワーク実習打ち合わせ会振り返り。 文献・資料や事前訪問等による実習施設の理解。 実習計画書作成指導。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
24	実習前グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 文献・資料や事前訪問等による実習施設の理解。 実習計画書の作成指導。 自己学習計画書を基にした事前自己学習に関する指導、等	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
25	事前訪問オリエンテーション	事前訪問の意義と留意事項。 訪問指導（帰校日指導）と学生用訪問指導記録の説明。 個人情報保護、守秘義務の確認。 実習報告会運営委員の選出。 実習評価表と指導上のポイントの確認。 実習コンピ・自己学習計画書の説明。	巻、大友、福岡、中田、 近藤、松本、片山
26	実習前グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 文献・資料や事前訪問等による実習施設の理解。 実習計画書の作成指導。 自己学習計画書を基にした事前自己学習に関する指導 スーパーバイザーの役割の理解、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
	事前訪問	実習施設を直接訪問することで、新たな問題意識の醸成、実習計画書の（再）指導、実習プログラムや必要な打合せ等を行い本実習に備える。 （夏期休業中に、実習施設の事前訪問を必須とする）	
27	専門職倫理・倫理綱領	専門職倫理の理解。 社会福祉士倫理綱領と実習体験。	大友、福岡、近藤、松 本、片山、巻
28	実習前グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 事前訪問で生じた実習計画書の修正を行い提出する、等。） 実習中の教員指導形態・方法説明。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
29	実習直前オリエンテーション	社会福祉教育における実習経験の意義。 実習に向けての留意事項。 実習前の最終確認（実習時の留意事項、連絡先、保険等）。 各種提出書類（訪問指導の記録、出勤簿等）の説明。 実習先礼状送付の説明。	巻、大友、福岡、中田、 近藤、松本、片山
		ソーシャルワーク実習開始（9月9日～10月24日迄） 実習期間：23日間以上・180時間以上 教員の訪問指導は週1回の予定（訪問指導及び帰校日指導の形態で実施） 一部の実習施設・機関は日程の変更有り	
30 { 33	教員の訪問指導 （学生の帰校日）	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 （学生、実習指導者、担当教員の実習関係三者による面接及び実習指導）。（学内の実習指導）。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
34	実習事後オリエンテーション	実習後の授業予定の説明。 実習後アンケート。 自己チェックリストを加えた実習報告書の説明。 実習報告会の実施計画の検討と準備。	巻、大友、福岡、近藤、 松本、片山
35	実習後グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 実習機関への提出物・礼状の発送状況の確認。 実習体験・ディレンマ体験の振り返りと整理。 実習報告書の指導。実習報告会の準備。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
36	実習後グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 実習体験・ディレンマ体験の振り返りと整理。 事例研究・地域研究をもとにした指導。 実習報告書の作成指導。 実習報告会の準備、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
37	実習後グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導	志水幸、大友、長谷川、

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		事例研究・地域研究をもとにした指導。 実習報告書の作成指導。 実習報告会の準備、等。	巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
38	ソーシャルワーク実習報告会リハーサル	実習報告会の運営方法を説明できる。 グループ報告のプレゼンテーションができる。(N- O教室で実施予定)	巻、大友、福岡、中田、 近藤、松本、片山
39	実習後グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 実習報告会の準備。 実習報告書の作成指導、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
40	実習後グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 実習報告会の準備。 実習報告書の作成指導、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
41	ソーシャルワーク実習報告会 (全体会・分野別意見交換会) 講目～講目	ソーシャルワーク実習の報告(講目～講目)。 学生・実習指導者・教員の実習三者によるソーシャルワーク実習及び実習報告の振り返りとまとめ。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
42	実習後グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 実習報告会・意見交換会振り返り。 実習報告書の作成指導(自己チェックリスト含む)。 自己評価用実習評価表と、実習評価表を基にした振り返り。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
43	実習体験相互交流会(2・3年生)	実習体験(3年生)をもとに、2年生に自らの実習体験と学びを説明することができる。 ソーシャルワークの分野特性(対象・実践特性等)が説明できる。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
44	実習後グループ指導	SW実習教育・指導に関する指針に基づく指導 実習報告書の作成最終指導(自己チェックリスト含む)。 実習報告書(自己チェックリスト含む)の実習施設・機関への送付指導、等。	志水幸、大友、長谷川、 巻、福岡、中田、近藤、 松本、片山
45	全体のまとめ	実習日誌、学生用訪問指導記録返却。 人権感覚と実践力を有した社会福祉専門職。 4年生の各専門実習、国家試験に向けて。 全体のまとめ。 北海道ブロックのアンケート。 授業評価アンケート。	巻、大友、福岡、中田、 近藤、松本、片山

【評価方法】

1. ソーシャルワーク実習指導評価

(ア) グループ参加態度 10点

(イ) OSCE・CBT評価 計50点

OSCE 30点

CBT 20点

(ウ) 記録物(すべての記録物が提出されていない場合は0点とする)40点

実習計画書(2回分)

実習コンピテンス・アセスメントと自己学習計画書(3回分)

訪問・帰校日指導記録(4回分)

実習報告書(紙面・データ)

全体講義及びグループ指導欠席時に担当教員から指示する課題(出席扱いとするものではない)

2. ソーシャルワーク実習前評価

次の(ア)～(ウ)のすべての項目を満たした場合に実習配属とする。

(ア) 出席状況(実習打ち合わせ会の前々週までの出席状況の評価)

全体指導 ○回の7割以上の出席

グループ指導 ○回の7割以上の出席

(イ) OSCE・CBT

OSCE: 合格基準 6割以上

CBT: 合格基準 6割以上

(ウ) 期間内提出を指示された下記すべての記録物・課題の提出。

実習計画書(第一版)

実習コンピテンス・アセスメントと自己学習計画書

欠席時課題

その他指示された課題

基準を満たすことが困難な場合は、実習配属中止とする。

【備 考】

教科書：(全学生)

米本秀仁 久能由弥(編)『相談援助実習・実習指導 第2版』電気書院(久美グループ)

社会福祉実習要綱、社会福祉実習の手引き、実習コンピテンス・アセスメント。

(保健医療分野実習学生用教科書)

『保健医療機関における社会福祉実習～実践的実習マニュアル』(一社)北海道医療ソーシャルワーカー協会。

参考書：必要に応じて提示する。

その他：この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「相談援助実習指導」に該当する。教職課程(福祉)では、教科に関する科目の「社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)」に該当する。

【学習の準備】

今回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、3

【実務経験】

巻 康弘(社会福祉士)、大友 芳恵(社会福祉士)、長谷川 聡(行政職員:福祉技術職)、福岡 麻紀(社会福祉士)、奥田 かおり(ソーシャルワーカー)、中田 雅美(社会福祉士)、近藤 尚也(社会福祉士)、松本 望(社会福祉士)、片山 寛信(社会福祉士)。

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関、社会福祉施設・機関でのソーシャルワーカー・社会福祉士等としての、実践経験を通じて得た、価値・知識・技術・態度などを活用し、実践的な教育を行う。